

[石川県]
高断熱高気密
住宅専門の本

西川建築工房 (石川県金沢市から掲載に参加しました)

パッシブデザインな家づくり！ 金沢で厚い断熱を施工する西川建築工房



壁300mm厚の断熱材に覆われたリスニングルームは、断熱性能だけでなく、防音効果にも優れ、住宅地でも安心して音楽を楽しむことができます。また、音質を高めるため、床は土間床工法が採用されています。



外観には、能登杉板を使用し自然塗料で仕上げています。2階の大開口窓から、遠くの山の景色も望めます。



無垢材のフローアや、自然素材の塗壁。シンプルで飽きのこない、居心地の良い空間に仕上げられています。

(株)西川建築工房

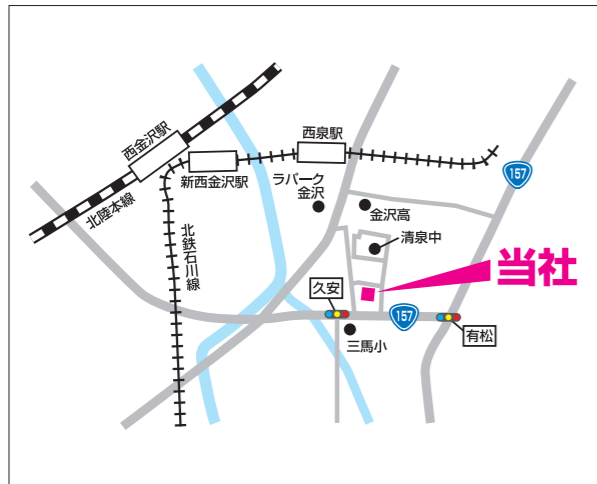
〒921-8042

石川県金沢市泉本町1-69

TEL.076-245-0071

URL : <http://www.nishikawa-kk.com>

E-mail : info@nishikawa-kk.com



当社は、工事を他社に丸投げすることなく、自分たちで一棟ずつ丁寧に作り上げています。営業から設計・工事と担当は変わらず、全ての段階を通して窓口は1つなので安心です。そのため、大工工事が始まってからのお客様の要望にも柔軟な対応が可能です。お客様の思いをそのままカタチにすることができます。また、地場の工務店として、日常の困り事にも小回りよく対応するよう心がけています。「西川の工に頼めば、なんでもやってくれる。」と、お客様からの信頼も戴いております。リフォーム工事においても、新築工事同様に断熱にこだわっています。当社の断熱改修で蘇った住宅は、ほっこり暖かく省エネで温度差が少なく快適に過ごせる環境となり、お客様から満足を戴いております。介護リフォームなどでは、トイレ・キッチン・風呂といった生活に必要な設備を一か所に集めた部分断熱改修も行い、ヒートショックがなく、体に無理のない安心した住環境を作りあげています。住まいは高断熱にするとすべてが変わります。金沢に一軒でも多く快適な住まいができるよう、頑張っています。



取締役部長 西川智隆



外壁側に200mm厚の付加断熱施工をおこないました。内側の充填断熱を加えると、300mm以上の断熱厚となります。



室内側の断熱材を1枚ずつ丁寧に充填しています。見えなくなる部分も丁寧に。

断熱について詳しい知識のあるお客様からこんな言葉を戴きました。
「最先端をいっていますね。」「ほかの会社と違って、しっかり答えてくれるね。」「いい断熱施工をしてくれる会社が見つかったよかった。」
私は石川県金沢市で建築を営んでいます。少人数のため建築戸数は多くありませんが、どんな建物でも、人が住む建物はずべて高断熱を基本性能にしています。最近では、「もっと断熱もっと快適そしてもっと省エネ」をモットーに、より高性能な住宅に挑戦しています。
たとえば、壁には高性能グラスウール200ミリ以上の厚い断熱施工を行います。100ミリでも十分なのですが、200ミリ断熱を行うと室内の安定感がまるで違うことに気づきます。昨年は300ミリ断熱の家も建築しました。(上写真)
住宅の熱損失を小さくする技術においては、どこにも負けないと自負して、次世代省エネルギー基準よりはるかに性能の高い住宅を提案しています。北海道東北より暖かいとはいえ、冬の金沢で暮らすのは大変だからです。
この金沢で、暖房費が半分以下で、家中快適に過ごせる家づくりをしています。